

第18期
環境報告書

(2020年4月1日～2021年3月31日)

2021年6月1日

株式会社BWM

1. 組織の概要

(1) 組織の概要

事業所名 : 株式会社BWM
 代表者氏名 : 代表取締役社長 齋藤 博
 所在地 : 【本社】宮城県仙台市青葉区大町二丁目 10 番 14 号
 【大和プラント】宮城県黒川郡大和町松坂平八丁目 3 番地 17
 【南方プラント】宮城県登米市南方町字実沢 152 番 2
 事業内容 : 産業廃棄物収集運搬業、中間処理業、伐採工事請負
 資本金 : 6,800 万円
 設立年月日 : 平成 15 年 12 月 12 日
 売上高 : 811,652 千円(令和 3 年 3 月期)
 従業員数 : 24名(本社大和プラント7名、南方プラント5名、本社 12名)

(2) 産業廃棄物処理業に関する事業内容

1) 許可の内容

① 産業廃棄物収集運搬業

許可自治体	優良認定	許可番号	許可年月日	有効期限	産業廃棄物の種類																	備考			
					燃え殻	汚泥	廃油	廃酸	廃アルカリ	廃プラスチック類	紙くず	木くず	繊維くず	動物性残さ	ゴムくず	金属くず	ガラス陶磁器くず	金属さき	がれき類	動物のふん尿	ばいじん		石綿含有産業廃棄物	産業廃棄物	水銀含有ばいじん等
宮城県	○	00413113164	平成27年10月5日	平成34年10月4日	○	◎	◎	○	○	◎	◎	◎	◎	○	○	◎	◎	○	◎	○	○	◎			積替え保管を行う場所： 宮城県黒川郡大和町松坂平八丁目3番地17
山形県	○	0609113164	平成29年7月3日	平成36年7月2日	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		
岩手県	○	00300113164	平成31年2月16日	平成38年2月15日	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		
福島県	○	00707113164	令和元年5月1日	令和8年4月30日		○			○	○	○	○	○	○	○	○	○	○			○	○			
秋田県	○	00507113164	令和3年4月5日	平成33年4月4日	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		
青森県		00201113164	令和元年5月27日	令和6年5月26日					○	○	○	○		○	○	○	○	○			○	○			

◎: 積替え保管を含む ○: 積替え保管を除く

②産業廃棄物処分業

許可自治体	優良認定	許可番号	許可年月日	有効期限	事業の範囲 処理方法	産業廃棄物の種類													備考								
						燃え	汚泥	廃油	廃酸	廃アルカリ	廃プラスチック類	紙くず	木くず	繊維くず	動物植物性残さ	ゴムくず	金属くず	ガラス陶磁器くず		珪藻土	がれき	動物のふん尿	ばいじん	石綿含有産業廃棄物	自動車等破砕物		
宮城県	○	00423113164	平成27年9月8日	平成34年9月7日	中間処理 破砕(固定式)																			施設の設置場所: 宮城県黒川郡大和町松坂平八丁目3-17			
					中間処理 破砕(固定式)																						施設の設置場所: 宮城県登米市南方町実沢152-2
					中間処理 破砕(移動式)																						
仙台市	○	05421113164	平成31年4月30日	令和8年4月29日	中間処理 破砕(移動式)																		伐採木に限る。				
福島県	○	00720113164	令和1年9月9日	令和8年8月3日	中間処理 破砕(移動式)																						
岩手県		00320113164	平成28年12月19日	平成33年12月18日	中間処理 破砕(移動式)																						
秋田県		00527113164	平成29年9月6日	平成34年9月5日	中間処理 破砕(移動式)																						
福島市	○	12420113164	令和元年8月4日	令和8年8月3日	中間処理 破砕(移動式)																						
青森県		00221113164	令和元年9月26日	令和6年9月25日	中間処理 破砕(移動式)																						

2)事業計画の概要

宮城県黒川郡大和町と登米市南方に産業廃棄物中間処理施設を設置し、伐採工事等から出される枝葉や伐根等の木くずの収集運搬及びチップ化処理を行っている。

施設でチップ化した木くずは、主に発電用燃料としてバイオマス発電所に供給している。

3)施設等の状況

①収集運搬車両

10tヒアブクレーン車 2 台、4tアームロール車 1 台、10t深ダンプ 2 台

合計 5 台

うち平成 22 年規制適合／排出ガス 10%低減車・平成 27 年度燃費基準達成車 1 台、

平成 21 年基準適合／排出ガス 10%低減車・平成 27 年度燃費基準達成車 3 台、

平成 28 年基準適合車・H27 年度燃費基準 5%向上達成車 1 台

②積替え保管施設

所在地:宮城県黒川郡大和町松坂平八丁目 3 番地 17

保管面積:32.4 m²

保管上限高さ:2.2m

保管上限量:40.6 m³(廃プラスチック類…8 m³、紙くず、木くず、繊維くず、金属くず、ガラスくず・コンクリートくず及び陶磁器くず、がれき類…各 4 m³、廃油…0.2 m³、汚泥…0.4 m³、石綿含有産業廃棄物…8 m³)

③産業廃棄物中間処理施設

【大和プラント】

施設の種類:木くずの破碎施設

所在地:宮城県黒川郡大和町松坂平八丁目3番地17(第一仙台北部中核工業団地内)

敷地面積:4,977 m²

建築面積:廃木材リサイクル A棟 1599.12 m² B棟 914 m² 事務所棟 235.44 m²

産業廃棄物処理施設設置許可:令和2年10月12日 許可番号 06-15-3

令和2年10月12日 許可番号 3-61-0

処理する産業廃棄物の種類:木くず

主要設備:※

二軸破碎機ビッグバス SRS650C(一次破碎機) 処理能力 229.79t/日(11時間稼働)

タブグラインダー・モバーク1000E(二次破碎機) 処理能力 123.20t/日(11時間稼働)

ロータリースクリーン 1台

スタースクリーン(選別機) 1台

木材カッター1台、油圧ショベル2台、フォークリフト2台、ショベルローダー1台

※今期、破碎機の入れ替えを行い、施設をリニューアルした。

【南方プラント】

施設の種類:木くずの破碎施設

所在地:宮城県登米市南方町実沢152番2

敷地面積:7,444 m²

建築面積:工場棟 912 m² 事務所棟 44.31 m²

産業廃棄物処理施設設置許可:平成29年2月2日 許可番号 07-22-1

処理する産業廃棄物の種類:木くず

主要設備:

二軸破碎機 HAAS(一次破碎機)

タブグラインダー・モバーク1000E(二次破碎機) 処理能力 89.6t/日(8時間稼働)

ロータリースクリーン 1台

木材カッター1台、油圧ショベル2台、フォークリフト1台、ショベルローダー1台

【移動式施設】

施設の種類:移動式木くずの破碎施設

名称:タブグラインダー・モバークS1000トラック 処理能力:120t/日(8時間稼働)

許可取得自治体:宮城県、仙台市、岩手県、福島県、福島市、青森県、秋田県

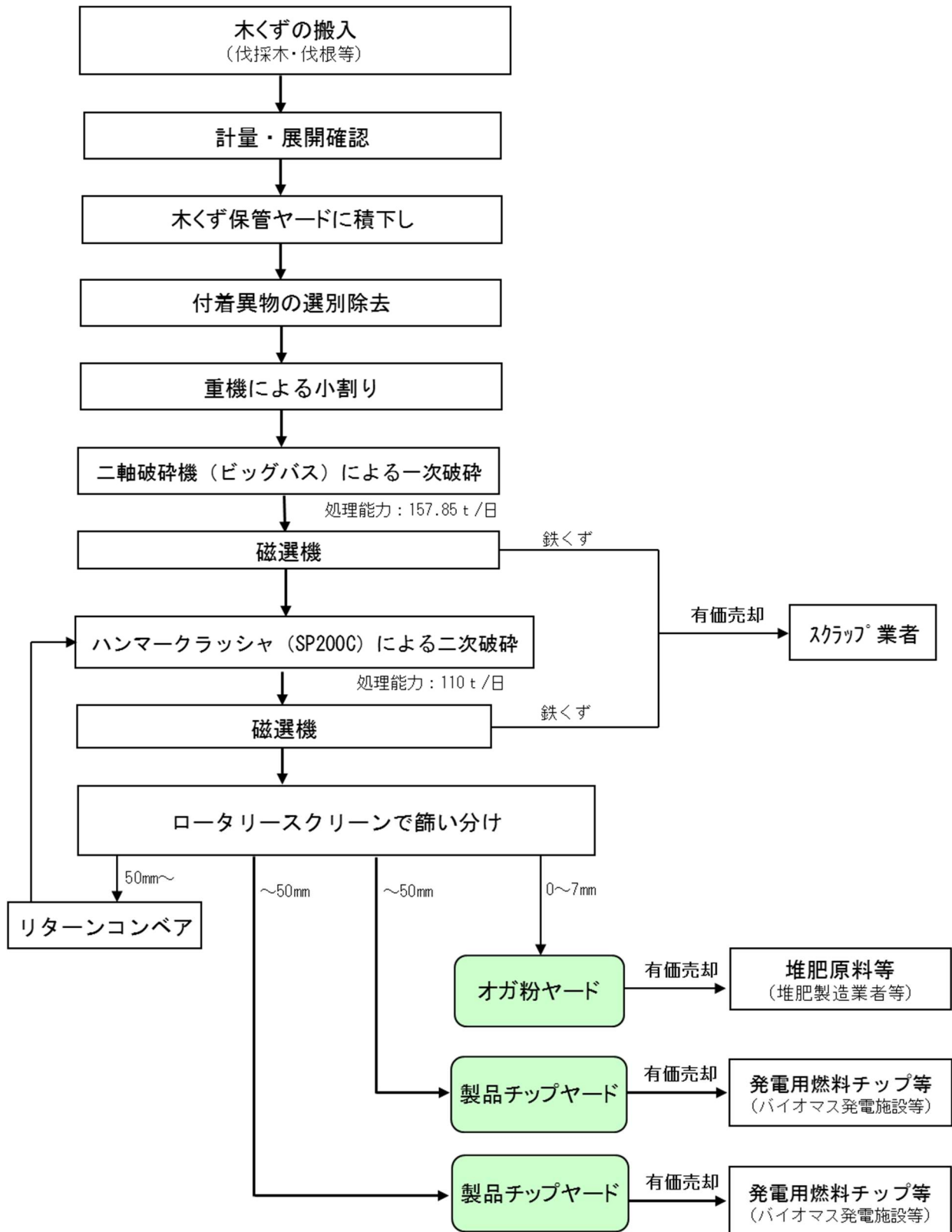
施設の種類:移動式木くずの破碎施設

名称:二軸破碎機ビッグバス SRS650C 処理能力 226.4 t/日(8時間稼働)

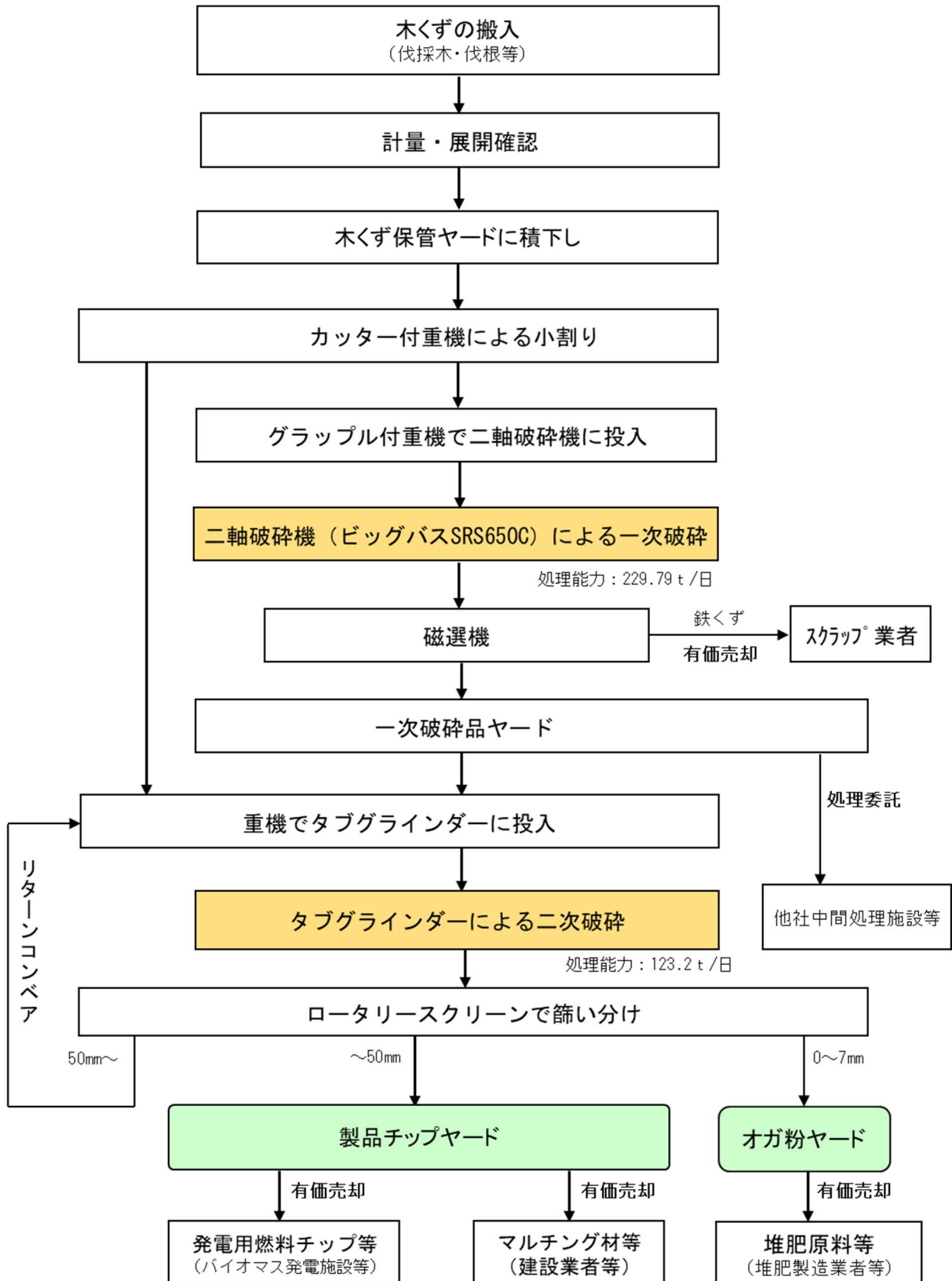
許可取得自治体:宮城県、仙台市、岩手県、福島県、福島市、青森県

4) 処理工程

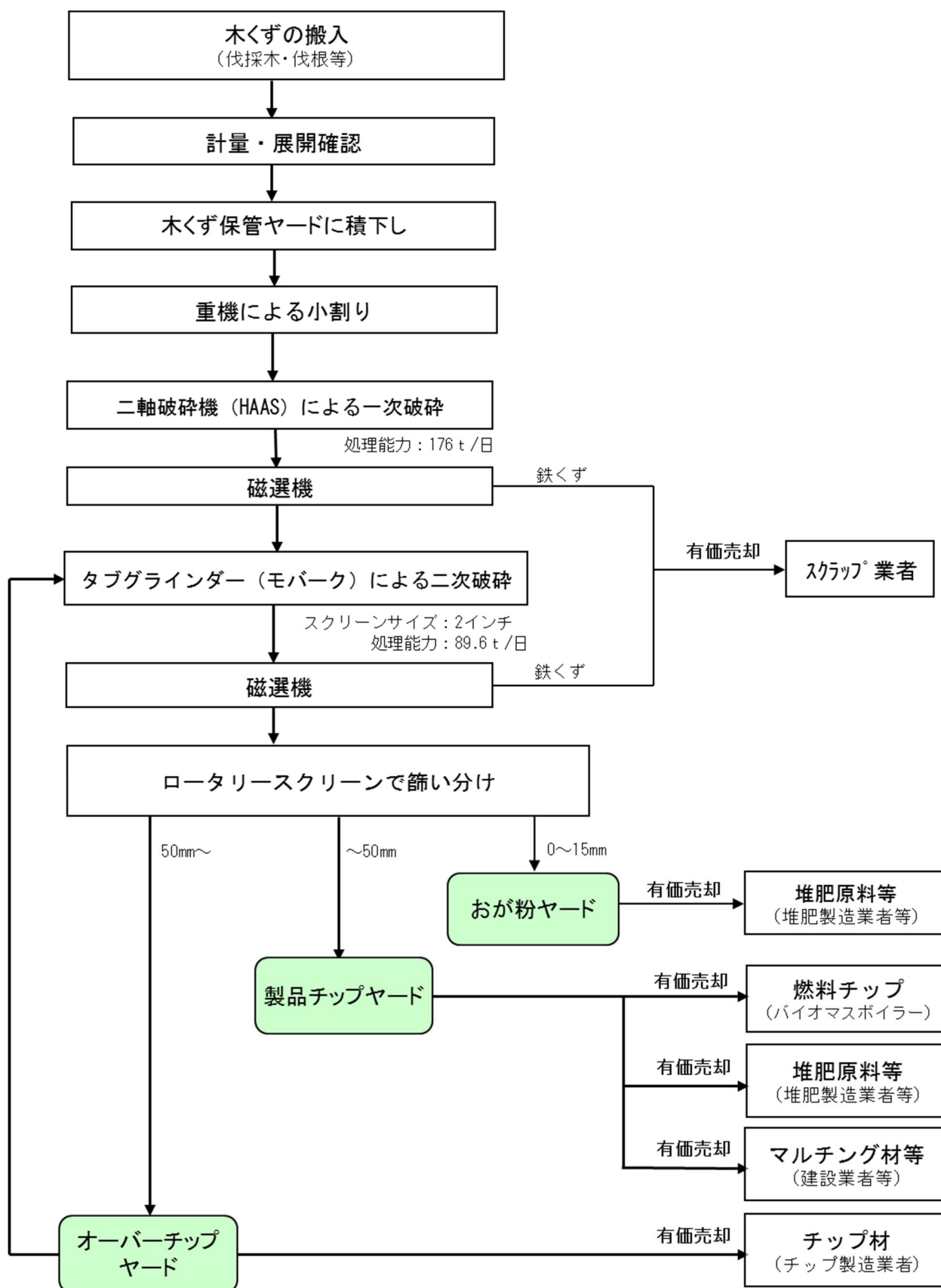
① 大和プラント(変更前)



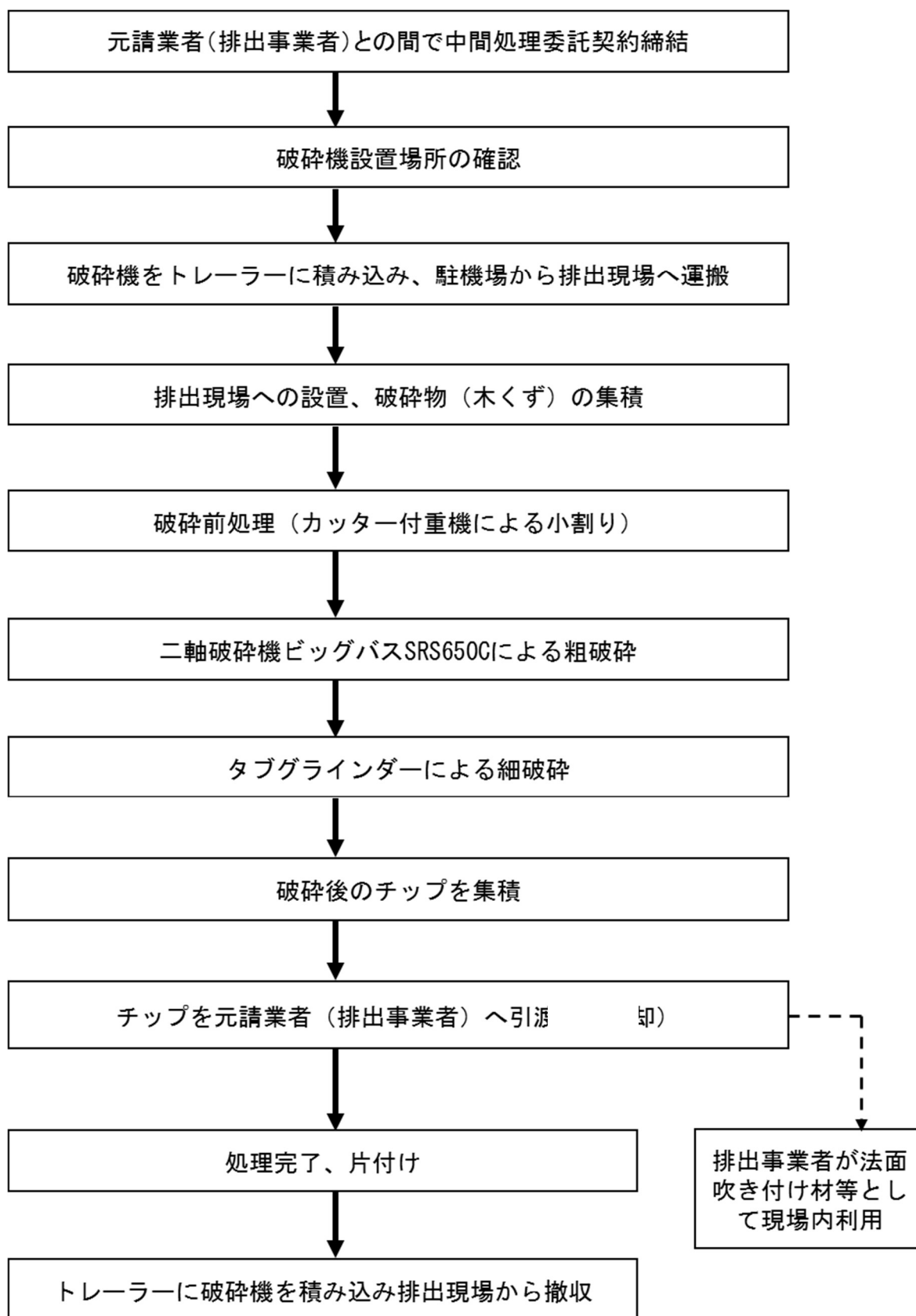
大和プラント(施設入れ替え後)



② 南方プラント(木くず)



③ 移動式施設(木くず)



5) 処理実績

① 産業廃棄物収集運搬業

単位：t

産業廃棄物の種類	令和2年									令和3年			合計
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
廃プラスチック類													0
紙くず													0
木くず	1,153	1,547	1,565	412	801	1,745	1,350	423	636	932	970	938	12,471
繊維くず													0
金属くず													0
ガラスくず・コンクリートくず及び陶磁器くず													0
廃石膏ボード													0
がれき類													0
管理型混合													0
合計	1,153	1,547	1,565	412	801	1,745	1,350	423	636	932	970	938	12,471

② 産業廃棄物処分業

【大和プラント】

単位：t

産業廃棄物の種類	処分方法		令和2年									令和3年			合計	
			4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月		
木くず	破砕	受入量	912	805	1,219	200	636	533	24	215	487	697	666	634	7,029	
		処分量	912	805	1,219	200	636	533	24	215	487	697	666	634	7,029	
処理後残さ	木くず	破砕	処分委託量							8	31	42		19	70	171

【南方プラント】

単位：t

産業廃棄物の種類	処分方法		令和2年									令和3年			合計	
			4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月		
木くず	破砕	受入量	371	601	631	567	123	1,292	1,385	289	319	350	422	869	7,218	
		処分量	371	601	631	567	123	1,292	1,385	289	319	350	422	869	7,218	
処理後残さ	木くず	破砕	処分委託量													0

2. 登録対象

(1) みちのくEMS 登録内容

認証登録年月日:2019年9月28日(初回登録日2009年9月28日)

有効期限 :2021年9月27日

認証登録番号 :09005

(2) 登録範囲

登録範囲(サイト)

① 大和プラント(宮城県黒川郡大和町松坂平8丁目3-17)

事業内容:産業廃棄物処分業、収集運搬業

従業員数:7名

敷地面積:4,977 m²

② 南方プラント(宮城県登米市南方町実沢152-2)

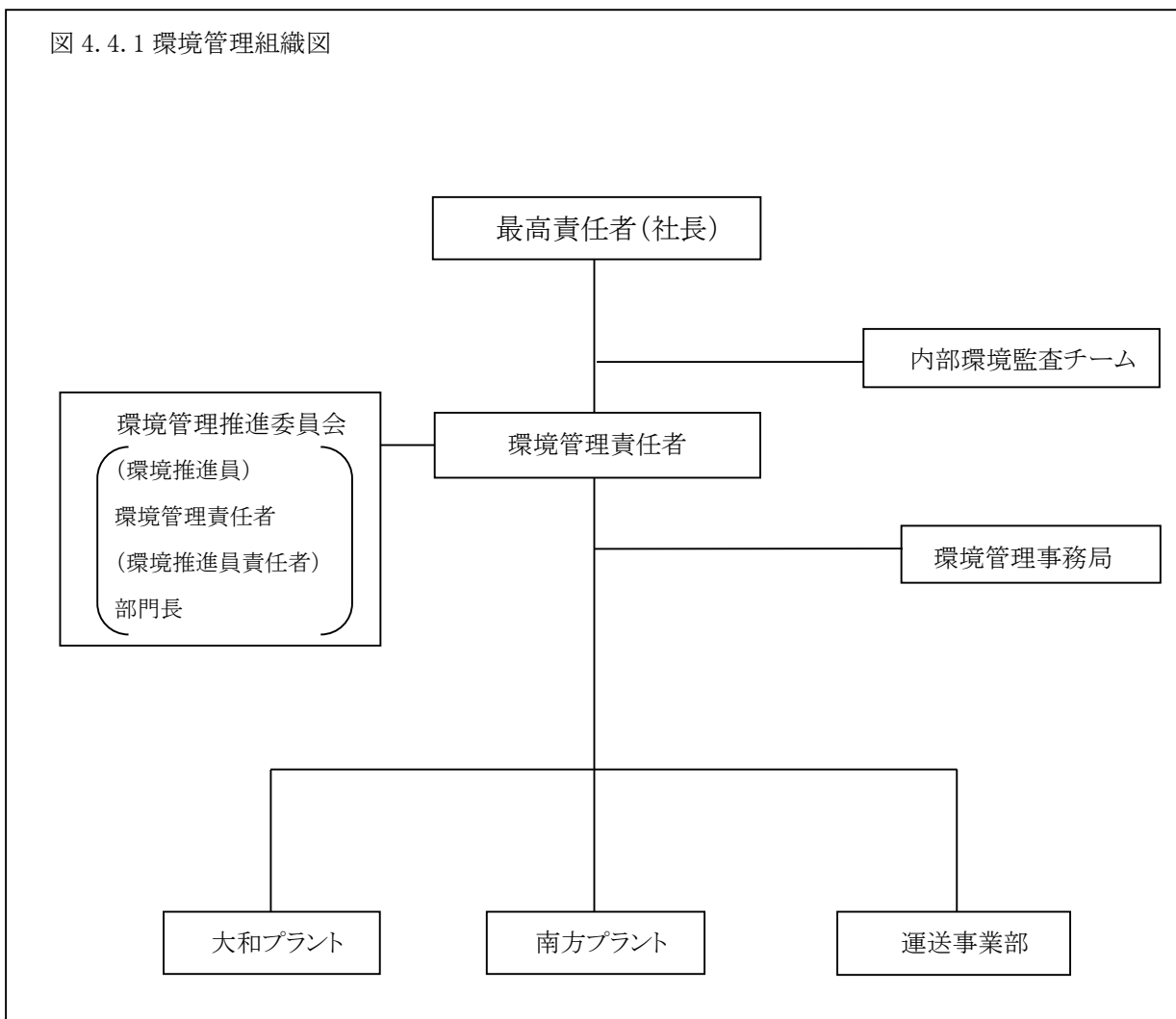
事業内容:産業廃棄物処分業、収集運搬業

従業員数:5名

敷地面積:7,444 m²

(3) 環境活動の取組体制

図 4.4.1 環境管理組織図



3. 環境方針

株式会社BWM 環境方針

基本理念

1. 私たちは、あらゆる尊い『いのち』を大切に想い、地球に優しい環境創りに挑戦します。
1. 私たちは、『未来へ伝える心』を大切に、人と自然が育み続ける社会を創造します。
1. 私たちは、『感謝の気持ち』を忘れず、夢の実現へ共に育ち成長し続けます。

環境方針

1. 事業活動にあたって、環境に関する法規制、その他の要求事項を遵守する。
2. 本環境方針に沿って、環境目的と環境目標を具体的に設定し、全社員は一致協力してその達成に努める。環境目的と環境目標は、定期的にその実績を評価し、見直しを行う。
3. 社内のあらゆる活動において発生する環境に及ぼす影響を常に認識し、以下の項目に取り組み、環境負荷の低減と汚染の予防並びに継続的改善に努める。
 - ① 省資源・省エネルギー
 - ② 二酸化炭素排出量の削減
 - ③ 水使用量の削減
 - ④ 廃棄物の適正処理及びリサイクルの推進
 - ⑤ グリーン購入の推進
4. 環境教育・周知活動を推進し、全社員の環境意識の向上を図るとともに、環境方針を社外に公開する。

2017年7月1日

株式会社 B W M
代表取締役 齋藤 博

4. 環境目的・環境目標

2020年度 環境目的と環境目標

部門名	環境目的	環境目標					
		中期目標	2018年実績	2019年実績	2019年度	2020年度	2021年度
大和プラント	プラントからのCO2排出量の削減	処理量1tあたりの排出量を2018年度比20%削減	総排出量172,299kg (処理量5,215t) 処理量1tあたりの排出量33.04kg	総排出量185,909kg (処理量6,848t) 処理量1tあたりの排出量27.15kg	処理量1tあたりのCO2排出量 2018年度比 10%削減 29.73kg以下	処理量1tあたりのCO2排出量 2018年度比 15%削減 28.08kg以下	処理量1tあたりのCO2排出量 2018年度比 20%削減 26.43kg以下
	水使用量の削減	300m ³ /年以下 (25m ³ /月以下)	232m ³ /年	166m ³ /年	300m ³ /年以下	300m ³ /年以下	300m ³ /年以下
	グリーン購入の推進	事務用品全購入金額の30%以上	事務用品全購入金額の38%	事務用品全購入金額の45%	事務用品全購入金額の30%以上	事務用品全購入金額の30%以上	事務用品全購入金額の30%以上
	チップ出荷量の維持	500t/月以上	チップ出荷量 4,751t (396t/月)	チップ等出荷量 6,848t (570t/月)	500t/月以上	500t/月以上	500t/月以上
南方プラント	プラントからのCO2排出量の削減	処理量1tあたりの排出量を2018年度比3%削減	総排出量202,281kg (処理量8,975t) 処理量1tあたりの排出量22.54kg	総排出量216,119kg (処理量10,396t) 処理量1tあたりの排出量20.79kg	処理量1tあたりのCO2排出量 2018年度比 1%削減 22.31kg以下	処理量1tあたりのCO2排出量 2018年度比 2%削減 22.09kg以下	処理量1tあたりのCO2排出量 2018年度比 3%削減 21.86kg以下
	水使用量の削減	120m ³ /年以下 (10m ³ /月以下)	53m ³ /年	65m ³ /年	120m ³ /年以下	120m ³ /年以下	120m ³ /年以下
	グリーン購入の推進	事務用品全購入金額の30%以上	事務用品全購入金額の43%	事務用品全購入金額の45%	事務用品全購入金額の30%以上	事務用品全購入金額の30%以上	事務用品全購入金額の30%以上
	チップ出荷量の維持	750t/月以上	チップ出荷量 6,997t 残土等搬出量 1,979t 合計 8,976t (748t/月)	チップ等出荷量 10,396t (866t/月)	750t/月以上	750t/月以上	750t/月以上
大型車両部	収集運搬車両の燃料消費量の削減	運搬量1m ³ あたりの燃料消費量 1.20L/m ³ 以下	燃料消費量 123,238L 運搬量89,969m ³ 走行距離327,181km	燃料消費量 111,756L 運搬量106,493m ³ 走行距離309,918km	運搬量1m ³ あたりの燃料消費量 1.30L/m ³ 以下	運搬量1m ³ あたりの燃料消費量 1.25L/m ³ 以下	運搬量1m ³ あたりの燃料消費量 1.20L/m ³ 以下
		運搬量1m ³ あたりの燃料消費量 1.37L/m ³	運搬量1m ³ あたりの燃料消費量 1.05L/m ³	1.30L以下	1.25L以下	1.20L以下	

5. 環境活動の実績

(1) 環境マネジメントプログラムの達成状況

2020年度環境マネジメントプログラム(大和プラント及び大型車両部)

環境目的	2020年度目標	主要施策	実績値	評価※
プラントからの二酸化炭素排出量の削減 (廃棄物処理量1tあたりの排出量を2018年度比20%以上削減)	廃棄物処理量 1tあたりの二酸化炭素排出量 2018年度比15%削減 (28.08kg-CO ₂ /t以下)	<ul style="list-style-type: none"> ・昼休み・休憩時の消灯、電源 OFF ・入荷量による計画的な稼働(集中的な作業による効率アップ) ・受入れ計画・処理計画の十分な検討による場内運搬量の削減 ・計画的な作業による重機の待機時間の削減 ・待機時のアイドルングストップ ・暖気運転の削減 ・施設整備の徹底 ・省エネ機器の選択 	CO ₂ 排出量: 140,806kg-CO ₂ (電力 134,420kw h×0.455kg/kwh +軽油 30,870ℓ× 2.58kg/ℓ) 廃棄物処理量: 7,083t 廃棄物処理量 1t あたりの CO ₂ 排 出量: 19.88 kg-CO ₂ /t	A

収集運搬車両の燃料消費量の削減 (運搬量 1m3 あたりの燃料消費量 1.200 以下(二酸化炭素排出量 3.096kg 以下)に削減)	運搬量 1m3 あたりの軽油消費量 1.250 以下に削減 (1.250/m3 以下) (3.225kg/m3 以下)	<ul style="list-style-type: none"> ・近場の運搬先の開拓 ・運搬計画の十分な検討による走行距離の短縮、渋滞の回避 ・綿密な運航計画 ・運転者の意識の向上(エコドライブ、アイドリングストップ) ・暖気運転の削減 ・車両整備の徹底 	0.930/m3 (2.399kg/m3)	A
水使用量の削減 (300 m ³ /年以下)	300 m ³ /年以下	<ul style="list-style-type: none"> ・作業者の節水意識の向上 ・適切な水量調整、水を出しっぱなしにせずこまめに止めることなどによる節水 ・洗車や清掃時も節水を意識して行う(バケツを使用する等) 	水使用量 230 m ³ /年	A
グリーン購入の推進 (事務用品全購入金額の 30% 以上)	事務用品全購入金額の 30% 以上	<ul style="list-style-type: none"> ・グリーン購入対象商品の積極的な選択 ・環境意識の向上 ・商品知識の理解を深める 	グリーン購入の割合 44%	A
チップ出荷量の維持 (チップ出荷量 6,000t/年以上 (500t/月以上))	チップ出荷量 6,000t/年以上 (500t/月以上)	<ul style="list-style-type: none"> ・作業者の意識の向上 ・選別人員の確保 ・荷卸し場所の検討 ・受入れ後速やかに選別・仕分けする ・計画的な搬出 ・選別作業スペースの確保 ・作業時間の確保 	年間チップ出荷量 4,496t (月平均 374t)	C

2020 年度環境マネジメントプログラム(南方プラント)

環境目的	2019年度目標	主要施策	実績値	評価※
プラントからの二酸化炭素排出量の削減 (廃棄物処理量 1t あたりの排出量を 2018 年度比 3% 以上削減)	廃棄物処理量 1t あたりの二酸化炭素排出量 2018 年度比 2% 削減 (22.09 kg-CO ₂ /t 以下)	<ul style="list-style-type: none"> ・昼休み・休憩時の消灯、電源 OFF ・入荷量による計画的な稼働(集中的な作業による効率アップ) ・受入れ計画・処理計画の十分な検討による場内運搬量の削減 ・計画的な作業による重機の待機時間の削減 ・待機時のアイドリングストップ ・暖気運転の削減 ・施設整備の徹底 ・省エネ機器の選択 	CO ₂ 排出量: 199,497kg-CO ₂ (電力 164,504kwh ×0.455kg/kwh +軽油 48,3130× 2.58kg/ℓ) 廃棄物処理量: 9,128t 廃棄物処理量 1t あ たりの CO ₂ 排出 量: 21.86 kg-CO ₂ /t	A

水使用量の削減 (120 m ³ /年以下)	120 m ³ 以下	<ul style="list-style-type: none"> ・作業者の節水意識の向上 ・適切な水量調整、水を出しっぱなしにせずこまめに止めることなどによる節水 ・洗車や清掃時も節水を意識して行う(バケツを使用する等) 	54 m ³	A
グリーン購入の推進 (事務用品全購入金額の30%以上)	事務用品全購入金額の30%以上	<ul style="list-style-type: none"> ・グリーン購入対象商品の積極的な選択 ・環境意識の向上 ・商品知識の理解を深める 	グリーン購入の割合 68%	A
チップ出荷量の維持 (チップ出荷量9,000t/年以上(750t/月以上))	チップ出荷量9,000t/年以上(750t/月以上)	<ul style="list-style-type: none"> ・作業者の意識の向上 ・選別人員の確保 ・荷卸し場所の検討 ・受入れ後速やかに選別・仕分けする ・計画的な搬出 ・選別作業スペースの確保 ・作業時間の確保 	年間チップ出荷量 7,372t (月平均 614t)	C

※A:良好(達成率 100%以上) B:やや不足(90~100%) C:不適合(90%以下)

(2) 環境活動の評価と課題

1) 大和プラント

① 廃棄物処理量 1tあたりの二酸化炭素排出量の削減

2018 年度比 15%削減の目標を達成した。受入量は昨年度より多かったが、破砕機の入替えに伴うリニューアル工事等のため南方プラントへの搬出もあり、エネルギー消費量は少なかった。

	17 期	18 期	前期比
木くず処理量	6,848 t	7,083 t	1.03
電力消費量	152,331 k w h	134,420 k w h	0.88
電力消費に伴う CO2 排出量	69,310 k g	61,161 k g	
軽油消費量	45,193ℓ	30,870ℓ	0.68
軽油消費に伴う CO2 排出量	116,598 kg	79,645 kg	
CO2 排出量合計	185,909 kg	140,806 kg	0.76
処理量あたりの CO2 排出量	27.15 kg/t	19.88 kg/t	0.73
目標値	29.7 kg/t 以下	28.08 kg/t 以下	

② 収集運搬車両の軽油消費量の削減

運搬量 1m³あたりの軽油消費量 1.25ℓ以下とする目標を達成することができた。

	17 期	18 期	前期比
運搬量	106,493 m ³	100,595 m ³	0.94
軽油消費量	111,756ℓ	93,314ℓ	0.83
軽油消費に伴う CO2 排出量	288,330 kg	240,750 kg	0.83
運搬量あたりの燃料消費量	1.05ℓ/m ³	0.93ℓ/m ³	0.89

運搬量あたりの CO2 排出量	2.709 kg/m ³	2.399 kg/m ³	0.89
目標値	1.300/m ³ 以下	1.250/m ³ 以下	

③水使用量の削減

大和プラントでの年間の水使用量は 230 m³で目標の 300 m³以下を達成した。

④グリーン購入の推進

事務用品購入金額の 30%以上の目標に対し、18 期は 44%の実績で目標を達成。

⑥ チップ出荷量の維持

目標を月 500トン以上(年間 6,000トン以上)に設定した。年間を通しては 4,496トンで目標を達成することができなかった。破砕機の破損と入れ替え等に伴うリニューアル工事及びその後の機械調整等で破砕できない期間が長かったこと等が大きな要因である。

2)南方プラント

①廃棄物処理量あたりの二酸化炭素排出量の削減

処理量は前期比 22%減だったのに対しエネルギー消費に伴うCO2排出量は8%減にとどまったが、目標は達成することができた。

	17 期	18 期	前期比
木くず処理量	10,396 t	8,128t	0.78
電力消費量	189,258 k w h	164,504kwh	0.87
電力消費に伴う CO2 排出量	86,112 k g	74,849kg	
軽油消費量	50,390ℓ	48,313ℓ	0.96
軽油消費に伴う CO2 排出量	130,006 k g	124,648kg	
CO2 排出量合計	216,119 k g	199,497kg	
処理量あたりの CO2 排出量	20.79 k g / t	21.86kg/t	1.05
目標値	22.31 k g / t 以下	22.09kg/t以下	

②水使用量の削減

年間の水使用量は 54 m³で目標の 120 m³以下を達成した。

③グリーン購入の推進

グリーン製品購入割合は年間を通して 68%で目標を達成した。

④ チップ出荷量の維持

目標を月 750トン以上(年間 9,000トン以上)に設定した。年間の搬出量 7,372トンで目標を未達成となった。一次破砕機のエンジン不調が続き、破砕効率が非常に落ちていたことと、これによる修理により約 1 月半破砕ができなかったことが大きな要因である。

6. 内部監査及び外部監査の結果

(1)内部監査の結果

内部監査は 2021 年 2 月 13 日に大和プラント、2 月 14 日に南方プラントでそれぞれ実施した。

環境マネジメントシステムは適切に運用されていることが確認された。

両プラントともチップ出荷量が目標未達成となっており、問題事項として指摘があった。

(2)外部監査の結果

2020年7月31日に行われた第7次定期サーベイランスにおいて、不適合、改善要求事項は0件、観察事項1件は対応済みとなっている。

7. 環境関連法規の順守状況

当社の事業活動に制約を受ける環境関連法規制等については、順守状況を定期的に確認している。法規制の大きな逸脱は見られなかった。

8. 最高責任者による評価と見直しの結果

(1) 全体評価

環境マネジメントシステムは適切に運用されている。

適用規格がみちのくEMS規格(第3版)、みちのくEMS(第3版)エコアクション21産業廃棄物処理業者の相互認証附属書に変更されたので、これに対応した活動を行うよう指示があった。

(2) 環境方針等の変更の必要性

適用規格変更のため2021年4月1日より環境方針を変更した。

9. コミュニケーション

第18期に実施した環境コミュニケーション活動

- ・仙台北部中核工業団地大栄会による工業団地内道路の清掃活動への参加(毎月1回)
- ・宮城県河川課主催の貞山運河等への桜植樹ボランティアへの参加(コロナのため中止)

10. 次年度の取り組み内容

第19期はみちのくEMS規格(第3版)、みちのくEMS(第3版)エコアクション21産業廃棄物処理業者の相互認証附属書に対応した活動を行う。次の項目に取り組む。

- ① 廃棄物処理量1tあたりの二酸化炭素排出量の削減
- ② 運搬車両の燃料消費量の削減
- ③ 水使用量の削減
- ④ 事業ごみ排出量の削減
- ⑤ チップ出荷量の維持向上

11. その他

自社排出産業廃棄物の種類及び排出量

排出事業場	産業廃棄物の種類	排出量
大和プラント	管理型混合(廃プラ、金属くず等)	5.0 m ³
南方プラント	混合	4.0 m ³
	廃プラスチック類	9.5 m ³